

報道機関各位

平成 31 年 年頭所感 「学び合い」

新年あけましておめでとうございます。

今年も多くの町民の皆様が町を楽しみ、そしてそんな葉山町を多くの方々に「いいね」、「いつかは住みたいね」と言ってもらえる魅力的な町として守り、磨いてまいります。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年は大きな災害が全国各地で発生しましたが、葉山町では台風 24 号の被害などがあつたものの、大規模な被害はなく、総じて平穏に過ごせたのではないかと感じています。改めて葉山町の立地に感謝しています。

一方で、夏にはオリンピックに向けて合宿する英国セーリングチームと異艇種のレースをしたヨットフェス 2018 を開催したり、フォルクスワーゲンジャパンや海外発の環境 NGO と協定を結びました。また、ジャパントイムズの里山フォトコンテストで最優秀賞を獲得する職員もいました。「海と山と HAYAMA」の発信と位置づけて、海外へ向けて町の価値を伝えていくことで、新たな葉山ブランドの確立に努めてまいりましたが、本年も引き続き町の価値向上の取組みを進めてまいります。

一昨年や昨年末、近隣では自治体の首長の交代がありましたが、行政同士の連携体制に大きな変更はないものと考えています。

これからは、山を活用した里山の魅力創造や学校給食センターの建設、老朽化した公共施設の整備が大きなテーマになります。そこで、2019 年度は行政のテーマを「学び合い」としました。これまで抑えてきた支出や皆様の協力で蓄えた基金を使って、いよいよ必要な施設整備、とりわけ子どもたちの安全と快適な空間整備のため、学校や生涯学習分野などの設備更新、修繕を中心に、「教育」に力を入れた事業を進めてまいります。そして知識や情報の交換など、ともに学び合う機会を増やすことや、葉山での暮らしを楽しめる、そんな学び合いを行ってまいります。

また、「学び合い」は町役場内の経営課題としても実践しなければなりません。縦と横の連携を強化して、皆様の暮らしを支えられる役場として、組織強化に力を入れてまいります。

今年は日本として、葉山としても大きな変化の時を迎える改元の年です。すでに町商工会長を委員長とした改元奉祝実行委員会を中心に、改元に伴う行事など、独自に感謝とお祝いの気持ちを表す取組みを検討しています。町民の皆様が、御用邸の町、別荘の町としての誇りや魅力を改めて感じて、気持ちがつながり、共感する素晴らしい機会となることを期待して、奉祝の機会を盛り上げてまいります。

平成 31 年 1 月 9 日

葉山町長 山梨 崇仁